

V 技術委員会事業報告

1. 概要

(1) 技能検定委員会との情報交換

技能検定委員会と技術委員会の役割分担を明確にした結果、技術委員会では、技能検定対応講習会を密度の高い講習内容にすべく、講師会等で講習内容を検討してきた。各支部で開催した講習会から提起された問題点・課題、及び技能検定委員会から提起された課題・問題点等の情報を共有し協議した。

(2) 技能検定試験対応講習会

技術委員会はこれまで一貫して、ばね技能者向けの人材育成事業を軸に諸活動を実施してきており、その中心となるのは金属ばね製造技能士の育成強化である。

技能検定委員会との協議内容を盛り込む等の改善を行いながら、技能検定試験の合格支援教育を実施しており、成果も上がっている。

平成30年度の技能検定試験は全国で545名が受検し、280名の技能士が誕生した。

初回の昭和60年からの技能士累計取得者は6,704名となった。

(3) 優良ばね製造技能者表彰

技能検定試験合格発表後に推薦を受け、各社より推薦を受けた。

	プラチナ賞	金賞	銀賞	合計
東部支部	4	6	6	16
中部支部	4	1	3	8
西部支部	10	17	11	38
合計	18	24	20	62

本年度も昨年同様の「プラチナ賞6名以上、金賞15名以上、銀賞30名以上」の目標を掲げ活動を推進した。

(4) ばね技術講習会

ばね設計技術の向上のため、ばね技術講習会を各支部で実施している。

支部ごとにそれぞれのニーズも考慮したテーマを設定して取り組み、ばねの基礎技術、中級設計技術、熱処理、品質管理などの講習会を開催した。

(5) 日本ばね学会への委託テーマ

ばねの破面解析事例(学会が、研究委員会を立ち上げ活動)

2. 技術委員会等開催実績

会議	日程・開催場所	議案等
第1回委員会	平成30年7月27日 京都(高瀬川二条苑)	1. 技能士試験合格状況確認 2. 技能士特級に対する厚労省のスタンスを報告 3. ばね学会への委託研究の現状を報告 4. 川島織物の見学会実施
第2回委員会	平成30年11月30日 名古屋(安保ホール)	1. 「ばねハンドブック2版」の正誤表展開遅れについて協議 2. ばね工業会の今後の事業運営における、 仮称「技術委員会のあるべき姿」について討議

会議	日程・開催場所	議案等
学会・工業会 技術連絡会	平成31年2月12日 東京(工業会会議室)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回議事録確認 2. 学会：委員会活動報告 3. 工業会：技術委員会・技能検定委員会・標準化委員会の活動報告 4. 2019年度の学会・工業会の積極的な交流を確認